



住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112

2020年11月 診療カレンダー

1. 内科・生活習慣病

2. 心臓病

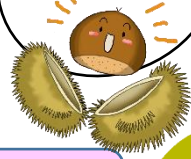
3. 糖尿病

4. 睡眠時無呼吸症

5. 土曜日診療



インフルエンザの
予防接種は
お済みですか？



ホームページ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	

休診日 午後休診 18時最終受付

診療時間

午前9時半～午後1時、午後3時半～午後7時

「今月の言葉」
雲の向こうは、いつも青空
There is always light behind the clouds.
(ルイーザ・メイ・オルコット)



＜お知らせ＞

・インフルエンザの予防接種開始しております
電話かWEB予約にてお申し込みください。

＜発熱外来＞

- ・時間 12:00～13:00、15:30～16:00
- ・受診の目安
- ①37.5℃以上②咳やくしゃみ
- ③最近の38.0℃以上の熱
- ④インフル・新型コロナが心配の方



クリニックからのご案内、ご質問へもお答えしています

さいとう内科・循環器クリニック
LINE公式アカウント

@237gsvtx



秋の香り



先日、晴れたある朝、ベランダに出て胸いっぱい深呼吸をしてみました。秋の朝の澄んだ空気を吸い込んだら、ふと昔自分が幼いころ嗅いだ、どこか懐かしい匂いと記憶がよみがえってきました。いま、私が住んでいるのは都内のマンションで、自然が豊かというわけではないのですが、それでも夏が過ぎ、秋が深まっていることを感じさせる匂いでした。みなさんは、似たような経験はありますか。

ところであの「秋の匂い」の正体はいったい何なのでしょう？ 小さいころ私が育ったのは千葉県柏市で、今の住まいと比べてはるかに自然は豊かでした。近くには森や畑が広がり、友達とザリガニ釣りをした沼もあり、その様々な入り混じったものがふるさとの匂いであったと思います。私が小さいころから大好きだったのは、何といってもキンモクセイの香りで、あまりに好きで、下校時にこっそりとキンモクセイを失敬し、箱(たしか「ボンタンあめ」の箱だったか)に入れて香りを楽しんでいたのを覚えています。

匂いといえば、雨上がりの独特な匂いも大好きです。マニアックな趣味？と思うかもしれませんが、かならずしもそうではないようです。あの雨上がりの独特の匂いの正体をご存じでしょうか？ その正体は「ゲオスミン(geosmin)」という有機化合物の匂いだそうです。ゲオスミンはもともとGeo(大地)、Smell(匂い)を意味する言葉からきています。このような言葉ができたということは、私と同じように、雨上がりの匂いに魅せられた人々が存在した証拠です。

このゲオスミンはらん藻、放線菌、とくにストレプトマイセス属などの微生物によって作られ、それが死んだときに放出されるそうです。雨が降ると土の中から叩き出されて宙へ舞い上がり、その匂いを感じるようです。なんと人の鼻はゲオスミンに敏感で低濃度でもその匂いを感じることができるというから驚きです。

それにしても匂いというのは不思議なものだと思います。音は録音ができますし、見るものは写真やビデオで録画ができます。しかし匂いはそれを感じた時にははっきりと分かるのですが、それを記録する手立てがありません。一方で匂いによって昔のことを思い出すことをブルースト現象(“失われた時を求めて”のなかで述べられている)といい、記憶と密接に関係していると昔から指摘されています。

ところで匂いというと新型コロナウイルス感染症の症状の一つの嗅覚消失(=匂いがわからなくなる)というものを思い出します。これは今年の4月に阪神の藤浪晋太郎投手が嗅覚消失から新型コロナウイルスに感染していることが判明し、世間を騒がせました。その後、英国のチャールズ皇太子も新型コロナウイルス感染により嗅覚が消失したと報道されました。新型コロナウイルス感染症による嗅覚障害は60-80%程度の患者さんに認められると報告されています。

新型コロナウイルス感染症による嗅覚消失のメカニズムは現段階では完全には分かっておりませんが、新型コロナウイルスが細胞の感染に利用するACE2受容体が嗅神経の周囲の支持細胞に最も多く認められたとあり、この細胞に感染することにより嗅覚障害をきたしていると考えられています。比較的早期に症状が改善していることから嗅神経自体が障害されているわけではないようです。

ところで嗅覚に障害があらわれる病気は新型コロナウイルス感染症だけではなく、その他のウイルス感染症や慢性副鼻腔炎など様々な病気により匂いがわからなくなることが知られています。病気によっては嗅神経が障害され、その結果残念ながら、元には戻らない患者様もいらっしゃいます。最近では嗅覚刺激法というリハビリテーションがあり、アロマなど様々な匂いを嗅いで嗅覚を取り戻す方法が行われているようです。使用する香りに特段決まりはないようで、自分の好みの香りでトレーニングすることもできるようです。

このコロナ禍において、最近では家を一步出れば、一日中マスクをつける生活です。マスクをつけていると匂いや香りに、なつかしさを覚えたり季節を感じたりすることは残念ながらあまりありません。

みなさんもたまには、そっとマスクをはずして、深呼吸をして大地の香りを感じてはいかがでしょうか。

文責 齋藤 幹